

2024年度 ミューフルインストラクター技術認定基準

※ジェルエステ・BWP技術マニュアルと合わせてご確認ください

各2点×44問 ◆各6点×2問 100点満点

*初心者：60点以上合格 *更新 アドバイザー：70点以上合格 マイスター：80点以上 & ★印の項目がすべて○で合格

			項目	審査基準
1	各2	J	手順・塗布（C・L・P）	手順を正しく出来ている。
2	2	C	リズム感・滑らかさ	手を肌から離していない。なめらかにリズムよく出来ている。
3	2		小鼻とまぶた（満遍なく）	正しい場所を洗っている、強弱が正しい。
4	2		タッチ（指のあたり）	そり指になっていない、強弱を意識しながら全体になじませている。
5	2		タッチ（密着感・触診）	そり指になっていない、強弱を意識しながら肌を触診している。
6	2	L	首（リンパの意識）	首の手順を理解している、首を洗う位置が正しい。
7	2		★ふき取り(ミトン・手順)	ミトンをきれいに作れている。手順が正しく出来ている。
8	2		★ふき取り(左タッチ・配慮)	左タッチ時、首の支えが出来ている。こすりすぎでない。
9	2		★ふきの残し	拭き残しがない。
10	各2	時	★時間内（四・一・二・仮）	時間内に出来ている。
11	2	四連	竹べらの持ち方	包丁持ちが出来ている、位置を正しく持っている。
12	2		肌切り	肌にBWPを乗せきれている、竹べらが床に対して平行になっている。
13	2		円の大きさ・形・厚み	3.5センチで塗れている、形、厚みに安定感がある。
14	2		★フチ・3時6時・角度	竹べらを肌に対して45度の角度で当て、BWPを運んでいる。3～6時、3～6時で塗り込み、フチが出来ている。
15	2		★剥がし方 圧迫	しっかり圧迫出来ている（指の腹で押さえることを推奨）。ハギ後のおさえ（手当て）が出来ている。
16	2		★剥がし方 垂直剥がし	肌に対して垂直に剥がせている。
17	2	一・二回転	肌切り	半切り、全切り、手前切り、向こう切りを理解して出来ている。
18	2		適切な大きさ・形・厚み・ヘラの角度	お顔に合った大きさで塗れている、くっついていない、形、厚みに安定感がある、フチが出来ている。竹べらを肌に対して45度の角度で当て、BWPを運んでいる。（額2-⑤を確認）
19	2		順番(塗る、剥がす)	正しく理解して行えている。
20	2		★支えの手	塗りたい場所の肌を張れている。
21	2		口（切り・運び方）	口を塞がず、毛に絡むように塗れている。下の部分が繋がっている。
22	2		鼻（切り・剥がし方）	鼻骨切りが出来ている。剥がし方が出来ている。
23	2		⑨、⑩（切り方・位置）	肌切りを間違えずにこめかみから眉山の上までの正確に塗れている。下から剥がせている。
24	2		3時～3時①②（位置・形）	1回転で正しい位置に塗れている。
25	2		ハート③④（切り・運び方）	竹べらの動かし方が正しく出来ている、目に近すぎない。
26	2		★剥がし方 圧迫・おさえ	頭をはさみ対角線で押さえて、しっかり圧迫出来ている。剥ぎ後のおさえ(手当て)が出来ている。
27	2		★剥がし方 支えの手	皮膚をしっかり張りながら支え手で追いかけている。
28	2		★剥がし方 垂直剥がし	肌に対して垂直に剥がせている。
29	2	仮面	BWP適量すくう	A:1度までの継ぎ足しで半顔を塗れる量をすくえている、継ぎ足しの場所が正しい。（頬） M:1度で半顔を塗れる量をすくえている。
30	2		肌切り	多い量を肌に乗せきれている、竹べらが床に対して平行の状態状態で肌切りしている。
31	2		順番（ヘラ運び・剥がす）	正しく理解して行えている。ヘラ運びが正しく出来ている。
32	2		★支えの手	肌を張って塗れている。
33	2		仮面の大きさ・厚み	厚みや形が適切で、つながったきれいな仮面が出来ている。
34	2		引き上げ	正しい圧で、正しい方向にリフトアップできている。
35	2		★剥がし方	肌を追いかけ引きながら丸みを残して剥がせている。鼻から剥がしている。
36	2	BWP総合	ヘラ・ウォーマーの汚れ	最後まで竹べらやウォーマーをきれいに保つことが出来ている。（ウォーマーの外、アルミ缶、不織布、竹べらのトータル）
37	2		姿勢・清潔感	距離を保ちモデルに不快感を与えない、爪・髪的身だしなみ。
38	6		◆★落とす	肌に最適な温度と固さを理解している。落とす毎に6点減点 M:一度も落とさない事。
39	6		◆★眉・まつ毛につける	眉毛生え際に付けずに塗れ、落ち着きがある。付ける毎に6点減点 M:一度も付けない事。
40	2	P	タッチ（指のあたり）	そり指になっていない、強弱を意識しながら全体になじませている。
41	2		パッティングの仕方	ポンポンと肌を優しく押さえるようにパッティング出来る。